

Overview: 罪のためのささげ物の実際として、キリストは「私たちに代わって罪とされました」。キリストは、罪との接触や自らの罪の経験によって経験的に罪を知ることはありませんでした。なぜなら彼の性質と実質の中に、罪がなかったからです。それにもかかわらず、キリストは私たちに代わって罪とされ(罪を持ったのではない)、神によって裁かれました。罪のためのささげ物の実際として、御子キリストは「罪の肉の形で、罪のために」遣わされたので、神は肉において罪を罪定めすることができました。私たちは罪人として、神の救いを必要とします。私たちは悪魔によって畏にかけられ悩まされている者として、主イエスが悪魔のわざを破壊することを必要とします。「神の御子が現れました。それは、彼が悪魔のわざを破壊するためです(Iヨハネ第3章8節)。「破壊する」と訳されたギリシャ語は、「消し去る、解消する」とも訳すことができます。ハレルヤ！罪のためのささげ物の実際としてのキリストを通して、悪魔は滅ぼされています！

I. 罪のためのささげ物の実際として、キリストは「私たちに代わって罪とされました」:

A. キリストは、罪との接触や自らの罪の経験によって経験的に罪を知ることはありませんでした。なぜなら彼の性質と実質の中に、罪がなかったからです。それにもかかわらず、キリストは私たちに代わって罪とされ(罪を持ったのではない)、神によって裁かれました。

B. キリストは、ただ私たちの罪のために十字架上で死んだだけでなく、また罪そのものとなって十字架上で死に、神によって私たちに代わって罪とされました: 1. 私たちは罪深かっただけでなく、罪そのものでもありました。私たちは罪の構成、罪の具体化でした。

2. 神が私たちのもろもろの罪を、十字架につけられたキリストの上に置いた後、神はキリストを唯一の罪人と考えました。

3. キリストが私たちの身代わりとして、私たちのために死んだ時、神は彼を、罪を担う者と考えただけでなく、罪そのものと考えました。キリストが十字架につけられたとき、罪も十字架につけられました。

4. キリストは私たちに代わって罪とされた方として、一度で永遠に神によって裁かれました。』

III. 「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければならない」(ヨハネ3:14): A. キリストは、御父によって罪の肉の形で遣わされた方として、民数記第21章4節から9節で青銅の蛇によって予表されています:』

1. イスラエルの子たちが神とモーセに言い逆らったとき、「エホバは火の蛇を民の間に送られたので、蛇は民にかみつ、それでイスラエルの多くの民が死んだ」(民21:6)。

2. 神はモーセに、「一つの火の蛇を作り、それを竿の上にかける」ようにと告げました。「モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを竿の上にかけた。蛇がどの人をかんでも、その人が青銅の蛇を見ると生きた」(8-9節)。

B. 民数記第21章の出来事は、神の主権によって用意され、キリストの特別な予表を啓示しました: 1. 竿の上にかけられた青銅の蛇は、形における蛇として、私たちのために十字架の上に上げられたキリストの予表です:

a. ヨハネ第3章14節で主イエスは、この予表をご自身に適用して、彼が肉体の中にあつたとき、「罪の肉の形」にあつたことを示しました。罪の肉の形は、青銅の蛇の形と等しいのです。b. 青銅の蛇は、蛇の形を持っていただけで、蛇の毒はありませんでした。キリストはただ蛇の形として上げられました。なぜなら、彼は蛇の毒の性質を持っていなかったからです。

2. 私たちは罪深い人として、確かに蛇の性質があります。私たちは墮落した性質において、古い蛇である悪魔の子供たちです:a. 私たちの性質において、私たちはみな蛇の毒を持つ蛇の類です。私たちの墮落した性質において、私たちは罪深いだけではありません。私たちはまた蛇のようです。

b. 神の目に、墮落した人類全体は毒蛇で構成されています。

II. 罪のためのささげ物の実際として、御子キリストは「罪の肉の形で、罪のために」遣わされたので、神は肉において罪を罪定めすることができました:

A. 神と共にあり、神であった言として、キリストは肉体と成りました:

1. 聖書の中で、特に新約の中で、「肉」は墮落した人を示すのであって、神の創造された人を示すものではありません。
2. 私たちの肉は単なる肉であるだけでなく、罪深い肉でもあります。しかしながら、キリストの肉は罪深い肉ではありませんでした。
3. 言が肉体と成ったとき、イエスの肉体は罪深い肉を持つ墮落した人に結合されましたが、彼の肉体には罪の要素がありませんでした。サタンはイエスの肉体の中へと入ることはできませんでした。

B. 神は、ご自身の御子を「罪の肉の形で」のみ遣わしました。実は、御子は罪の肉を持ったのではなく、罪の肉の形、様を持っただけでした: 1. 言が肉体と成ったのは、三一の神が罪深い人の形で、肉の人と成ったことを意味します。

2. キリストは肉体と成って、間接的に罪とかわりました。それは罪の肉の形においてだけであって、罪の実際においてではありませんでした。

3. そうすることによって、神は人性の中へと入り、罪深い人と一になりました。しかしながら、彼は罪深い人の形を持っただけで、罪深い人の罪を持たず、墮落した人の形を持っただけで、墮落した人の罪深い性質を持ちませんでした。』

4. キリストは彼の死において肉体の中の人として、神が肉において罪を罪定めするようにしました:a. 肉は罪に属するものであり、神の御子はまさに肉体と成りました。しかしながら、彼は肉の罪にあずかりませんでした。b. 父なる神は、罪を対処し廃棄さえしようとして、子なる神を罪のために遣わしたとき、罪の肉の実際においてではなく、罪の肉の形、外観において彼を遣わしました。c. キリストが十字架の上にいた間、神はイエス・キリスト(罪の肉の形で遣わされた方)の肉体にある罪を罪定めしました。

IV. 「このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔のわざを破壊するためです」: A. 私たちは罪人として、神の救いを必要とします。私たちは悪魔によって畏にかけられ悩まされている者として、主イエスが悪魔のわざを破壊することを必要とします。

B. 神の御子は地上にいたとき、悪魔のわざを破壊しました: 1. 多くの時、サタンのわざは明らかではありませんでした。サタンは自然現象の背後に隠れていました。

2. 悪魔は多くの自然現象の背後に隠れていましたが、主イエスは悪魔をしっかりとつけました。

C. Iヨハネ第3章8節で、「破壊する」と訳されたギリシャ語は、「消し去る、解消する」とも訳すことができます:

1. 悪魔は古代の時代から絶えず罪を犯して、罪人を生み出し、罪人は悪魔と共に罪を実行してきました。

2. このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔の罪深い行為を消し去り、解消するため、すなわち、十字架上で彼の死を通して、肉において、邪悪な者によって

V. 「こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっている、同様に彼ご自身も同じものにあずかれたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり」(ヘブル2:14):

A. 主イエスの現れは、悪魔のわざを破壊しました。主イエスの死は、悪魔自身を滅ぼしました。』

B. 主イエスは形において蛇であることを通して、古い蛇、悪魔の頭を砕きました:

1. 蛇は悪魔の象徴です。主イエスが蛇の形で十字架につけられたのは、悪魔、サタンを対処するためです。

2. このようにして、彼はこの世の支配者を裁きました。「今は、この世が裁きを受ける時である。今、この世の支配者は追い出される」(ヨハネ12:31): a. サタンは古い蛇、世の支配者として、自分自身を人の肉の中へと注入しました。b. 主は罪の肉の形で十字架の上の死を通して、人の肉の中にあるサタンを滅ぼしました。c. このようにサタンを裁くことによって、主はまたサタンの上に掛かっている世を裁きました。ですから、主が上げられることは、世が裁かれ、その支配者が追い出されるようにしました。

C. キリストは十字架において、悪魔を滅ぼしました:

1. ヘブル第2章14節で、「滅ぼす」と訳されたギリシャ語はまた、「無に陥らす、無効にする、廃棄する、除去する、取り消す、捨てる」とも訳すことができます。2. キリストは彼の人性の中で、十字架上で彼の働きを通して、悪魔を滅ぼしました。

3. キリストは、蛇にかまれた墮落した人の身代わりとして死んだだけで

3. 私たちはそのような蛇であるので、身代わりを必要としました。私たちは、キリストが蛇の形で、しかし蛇の毒の要素を持たないで、私たちのために死ぬことを必要としました。』

始められた罪を罪定めするため、罪の力、すなわち悪魔の罪深い性質を滅ぼすため、罪ともろもろの罪を取り除くためです。

なく、また悪魔を滅ぼしました。
D. ハレルヤ！罪のためのささげ物の実際としてのキリストを通して、悪魔は滅ぼされています！』

第一日: ローマ6:10 彼が死んだのは、ただ一度、罪に対して死んだのであり、彼が生きているのは、神に生きているのです。

Ⅱコリント5:21 神は罪を知らなかった方を、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちが彼の中で神の義となるためです。

第二日: ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。

ローマ8:3 律法が肉のゆえに弱くて、なし得なかったので、神は、ご自身の御子を罪の肉の様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。

第三日: 創6:3 そこで、エホバは言われた、「私の霊は、永久には人と争わない。人は実に肉であるからだ。それで人の日数は百二十年となる」。

Ⅰテモテ3:16 そして確かに、偉大なのは敬虔の奥義です。この方は肉体において現され、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世の人の中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

第四日: ヨハネ3:14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければならない。 15 それは、彼の中へと信じる者がすべて、永遠の命を持つためである。

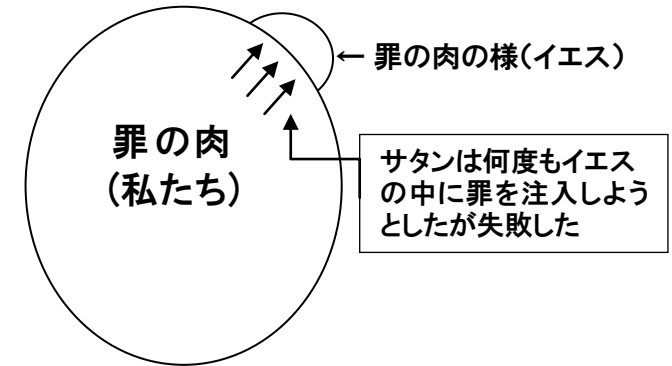
民21:8 エホバはモーセに言われた、「一つの火の蛇を作り、それを竿の上にかけてなさい。かまれたすべての者は、それを見れば生きる」。 9 モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを竿の上にかけて、蛇がどの人をかんでも、その人が青銅の蛇を見ると生きた。

第五日: Ⅰヨハネ3:8 罪を実行する者は、悪魔から出ています。なぜなら、悪魔は初めから罪を犯しているからです。このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔のわざを破壊するためです。

ヘブル2:14 こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっているのです、同様に彼ご自身も同じものにあずかられたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり。

第六日: ヨハネ12:31 今は、この世が裁きを受ける時である。今、この世の支配者は追い出される。

16:11 裁きについてとは、この世の支配者が裁かれたからである。



《預言の準備》

経験①: 神の御子は“罪の肉の様で、罪のために”遣わされたので、神は肉において罪を罪定めした

ヨハネによる福音書第1章14節は、言は人と成ったとは言っていません。それは、言は肉体と成ったと言っています。神の御子が人と成られた時、人は古くなっており、また人は肉となっていました。聖書の中で、特に新約の中で、「肉」は墮落した人を示します。聖書は私たちに、神は人を創造されたと告げていますが、神は肉を創造されませんでした。創世記第1章は、神は人を創造された後、「造ったすべてのものを見られた。すると見よ、それは非常に良かった」(31節)と告げて、神が創造された人が非常に良かったことを示しています。しかしながら、創世記第3章で、この神の創造した人は墮落し、創世記第6章で、この墮落した人は罪を通して、腐敗し、墮落した肉となりました(3節)。ローマ人への手紙第3章20節は、律法の行ないによっては、「いかなる肉も、神の御前に義とされないと」言います。ここの「肉」は墮落した人を指しています。神の目に、墮落した人類は肉にすぎません。

キリストは彼の死において肉体の中の人として、神が肉において罪を罪定めするようにしました。ローマ人への手紙第8章3節は言います、「神は、ご自身の御子を罪の肉の様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました」。肉は罪に属するものであり、神の御子はまさに肉体と成られました。しかしながら、彼はただ罪の肉の様にあってだけで、肉の罪にあずかりませんでした。ローマ人への手紙第8章3節によれば、神が彼の御子を罪の肉の様で罪のために遣わしたのは、神が肉において罪を罪定めするためでした。

中高生編

神の御子である言が肉体となるとは、御子キリストが人の命と性質を持つことです。ここの「肉体」は、ローマ8章3節によると、「罪の肉の様」です。キリストは純粋で正当な人ですが、罪はなかったので、彼の人性は「罪の肉の様」でした。罪のためのささげ物の実際として、御子キリストは「罪の肉の様で、罪のために」遣わされたので、神は肉において罪を罪定めすることができました。ローマ8:3 …神は、ご自身の御子を罪の肉の様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。

もしキリストが人でなければ、私たちの代りに死に、罪の問題を解決することはできませんでした。またもしキリストの人性が罪の肉の様でなければ、彼が十字架で死ぬのは罪のゆえです。私たちの身代わりに死ぬことはできません。「罪の肉の様」にはこのような意味があるのです。ハレルヤ！ 神は罪の肉の様でキリストが十字架に付けられることによって、罪を罪定めすることができたのです。先のページの図を見てください。主イエスが地上で生きておられたとき、サタンはいつも罪を彼の中に注入しようとしたが、それはできませんでした。そして主は罪の肉の様として十字架上で死に、罪は罪定めされました。ハレルヤ！

ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。5 なぜなら、肉にしたがっている者は、肉の事柄を思い、霊にしたがっている者は、その霊の事柄を思うからです。6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

罪が罪定めされるのは、私たちがもはや肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩くためです。また十字架での効果は、すべてを含む命を与える霊の中に含まれていますので、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩き、思いを霊に付けて、罪から解放され、平安を持つことを経験できます。

例えばあなたは、学校で先生がある人を褒めると嫉妬しそうになります。嫉妬するのは嫌なので、我慢しますが、嫉妬が内側からあふれてきます。これは内住の罪の働きです。このような時あなたは霊に戻り、主に祈ってください、「主イエスよ、あなたを私の罪のためのささげ物とします。あなたは罪の肉の様で十字架上で死なれ、罪は罪定めされました。それは私が肉にしたがって生き、罪に悩まされるのではなく、霊にしたがって生き、罪から解放され、平安を得るためです。私を嫉妬で満たされることから救ってください。アーメン！」

経験②: キリストは死を通して、死の権能を持つ悪魔サタンを滅ぼした

主が現れたのは悪魔のわざを破壊するためであることを、私たちは信じなければなりません。…彼は地上におられた時、どこへ行っても悪魔のわざを破壊しました。多くの時、サタンのわざは明らかではありませんでした。サタンは自然現象の背後に隠れていました。しかしながら、主は毎回サタンをしっかりとつけました。主はペテロの語るのをしっかりとつけていた時、またペテロのしゅうとめの熱をしっかりとつけていた時、風と波をしっかりとつけていた時、サタンをしっかりとつけておられたことは明白です。…主はどこへ行かれても、悪魔の力が打ち砕かれました。こういうわけで彼は言われました、「しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである」(マタイ12:28)。言い換えれば、主がどこへ行かれても、サタンが追い出され、神の王国が現されました。主がおられる所に、サタンはとどまることができませんでした。

悪魔は古代の時代から絶えず罪を犯して、罪人を生み出し、罪人は悪魔と共に罪を実行します。ですから、このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔の罪深い行為を消し去り、破壊するため、すなわち、十字架上で彼の死を通して、肉において、邪悪な者によって始められた罪を罪定めするため、罪の力、すなわち悪魔の罪深い性質を滅ぼすため、罪ともろもろの罪を取り除くためです。

主イエスは死を通して、死の権能を持つ者である悪魔を滅ぼされたことを、私たちは信じなければなりません。主イエスの現れは悪魔のわざを破壊し、主イエスの死は悪魔そのものを滅ぼしました。

在職青年/大学院生編

ビジネス・ライフにおいて、サタンは絶えずあなたが勝利者になることを妨げ、不信仰に陥り、敗北のクリスチャンになるように働いています。サタンはあなたを脅して、上司の言うことを聞いて残業をもっとしないと会社を解雇されるのではないかとささやきます。このようなサタンのささやきを聞けば聞くほど、あなたは恐怖におのきまします。そして召会生活よりもビジネス・ライフの方が重要なのではないかとという不信仰な思いが出てきます。このような状況下で、あなたはキリストが彼の死を通して悪魔を滅ぼしたことを経験してください。

ヘブル2:14 こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっているの、同様に彼ご自身も同じものにあずかれたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり、15 また死の恐怖のゆえに一生涯、奴隷とされていた者たちを解放するためです。16 確かに神は、御使いたちを助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けられます。18 というのは、彼ご自身が試みられて苦しまれたので、試みられている者たちを、助けることができるからです。

あなたは不信仰に陥らないように戦わなければなりません。戦いのために次のことを実行してください。

- サタンのささやきを聞く前に、毎朝まず主の語りかけを聞くために御言葉を祈り読みしてください。朝起きて、身支度をした後、まず御言葉に来てください。信仰は御言葉を聞くことから来るのです。
- バイタル・パートナーと交わって、自分の状況を説明し、とりなしの祈りをしてもらうように求めてください。この時、彼らが祈りの負担を取りやすいように状況を詳しく説明する必要があります。また、状況が改善したら、交わってそのことを伝え、彼らと共に主を賛美してください。
- 職場でも主の御名を呼び、霊の中で信仰を持って、祈ってください、「主イエスよ、あなたは悪魔サタンを十字架上で滅ぼしてくださいました。私はビジネス・ライフの試みの中でこのことを経験します。悪魔サタンよ、お前は獅子のように吠えたけり、私を脅し、弱らせようとしている。しかし、私は信仰によって宣言する。キリストと召会はお前よりもはるかに強い。お前は私たちの主の十字架上の死によって、すでに滅ぼされている。なぜ、お前はここにいるのか。悪魔サタンよ、十字架に帰れ！ 十字架がお前の今の居場所であり、火の池がお前の永遠の居場所である。」

1. おお、何というあいでしょう、すくいぬしは血をながし、
わたしのために死に、すくいをじょう就された！
わたしがつみをおかしたのに、かみがわたしに代わり死なれた！
なんというあいでしょう、かみはわがため死ぬ！
2. おお、何というおく義でしょう、だれも知り尽くせぬもの、
かみのあいのひろさ、ながさ、たかさ、ふかさを！
てん使たちも知らないすくい。ぜん地は伏して、主をほめたとう。
すべてはあわれみ、いま、れいはいします！
3. おお、何というめぐみでしょう、主はちちの御座をはなれ、
御身を捨て、血ながし、のぞみなきひとすくう；
めぐみは無だい価で無げんに、つみにあるわたしにもおよんだ！
無だい価のめぐみ、わたしにさえおよぶ！
4. おお、何というかい放でしょう、主はめぐみによりすくう；
つみの奴れいとされ、くらきにいたわたしを；
くさはりは落ち、かいほうされて、主にしたがいでゆき、かん喜満ちる。
そくばく解かれて、こころ、歓喜に満ちる。
5. おお、何というへい安でしょう、もはやつみさだめはなし；
主、わがうちに生きて、しんせいな義はおおう；
めぐみの御座にすすみ出れば、キリストはわがかんむりとなる。
だいたんにすすみ、主をかんむりとし受く。

1. And can it be that I should gain
An int'rest in the Savior's blood?
Died He for me, who caused His pain?
For me, who Him to death pursued?
Amazing love! how can it be
That Thou, my God, shouldst die for me?
Amazing love! how can it be
That Thou, my God, shouldst die for me?
2. 'Tis mystery all! The Immortal dies!
Who can explore His strange design?
In vain the firstborn seraph tries
To sound the depths of love Divine!
'Tis mercy all! let earth adore,
Let angel minds inquire no more.
'Tis mercy all! let earth adore,
Let angel minds inquire no more.

3. He left His Father's throne above,
So free, so infinite His grace;
Emptied Himself of all but love,
And bled for Adam's helpless race:
'Tis mercy all, immense and free;
For, O my God, it found out me.
'Tis mercy all, immense and free;
For, O my God, it found out me.
4. Long my imprisoned spirit lay
Fast bound in sin and nature's night;
Thine eye diffused a quickening ray,
I woke, the dungeon flamed with light;
My chains fell off, my heart was free,
I rose, went forth, and followed Thee.
My chains fell off, my heart was free,
I rose, went forth, and followed Thee.

1. 救主流血所成救恩，
罪是我犯，死歸祂受，
驚人之愛，何竟如此？
驚人之愛，何竟如此？
我是何人竟也有分？
祂替我死，為將我救！
我主我神為我受死！
我主我神為我受死！
2. 不能死者，竟然受死！
神聖之愛，高深長闊，
所有天使不必臆猜，
所有天使不必臆猜，
全是奧秘，誰能盡知？
最高天使也難測度！
全是憐憫，當得敬拜！
全是憐憫，當得敬拜！
3. 離開天上父的寶座，
虛己、舍身，流血、贖罪，
全是憐憫，無量、白給，
全是憐憫，無量、白給，
降世為人，恩何廣闊；
為救亞當無望族類；
竟然臨及我這罪魁！
竟然臨及我這罪魁！
4. 天性黑暗，邪惡滿心，
你眼垂顧，帶來恩光，
鎖鏈盡脫，全人釋放，
鎖鏈盡脫，全人釋放，
我靈久為罪惡監禁；
我立蘇醒，囚牢明亮，
起來隨主，心中歡暢。
起來隨主，心中歡暢。
5. 不再定罪，尚何懼憂？
活在元首基督裡面，
坦然來到施恩座前，
坦然來到施恩座前，
主和一切盡歸我有！
神聖之義將我遮掩；
有主基督作我冠冕。
有主基督作我冠冕。

5. No condemnation now I dread;
Jesus, and all in Him, is mine!
Alive in Him, my living Head,
And clothed in righteousness Divine,
Bold I approach the eternal throne,
And claim the crown, through Christ my own.
Bold I approach the eternal throne,
And claim the crown, through Christ my own.